

三分出廬兮諸葛已矣夫一身入洛兮賈彪安在哉
心師貫高兮而無素立名志仰魯連兮遂乏釋難才
讀書無功兮據學三十年滅賊失計兮猛氣廿一回
人譏狂頑兮鄉黨衆不容身許家國兮死生吾久齊
至誠不動兮自古未之有人宜立志兮聖賢敢追陪

己未五月吾有關左之厄時幕疑深重復歸難期余
因以永訣告諸友謀使浦無窮肖吾像吾自贊之顧
無窮知吾者宜特寫吾貌而已哉况吾之自贊乎諸
友其深藏之吾即礫布以幅乃有生色也

二十一回猛士藤寅撰并書



平成二十年

六月一日◎▼八日◎【七日間限定】山口県文書館

※二日間は閉館

〒753-0083 山口県山口市
TEL (083) 924-2116 FAX (083) 924-2117
http://mononobe.sandj.jp
e-mail: 550703@pc.fymagpuhi.jp

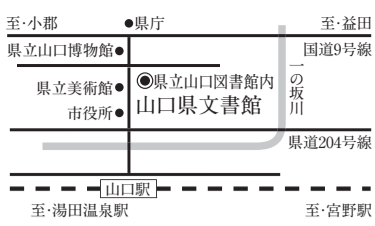
【参加無料】

第三回中国四国地区アーカイブズウィーク
吉田松陰自贊肖像・絶筆 松下村塾記修復記念

吉田松陰自贊肖像展

山口県文書館

〒753-0083 山口市後河原150-1
TEL (083)924-2116
FAX (083)924-2117
http://ymonjo.ysn21.jp/
e-mail a50703@pref.yamaguchi.lg.jp



後援——萩市・萩市教育委員会・維新史回廊構想推進協議会・(財)松風会・山口県地方史学会・山口県文化財愛護協会
修復助成——(財)住友財団

吉田松陰自賛肖像・絶筆・松下村塾記修復記念

吉田松陰自賛肖像展

平成二十年 六月一日(日)～八日(日) 二日(月)は閉館

一、アーカイブズ展示

「吉田松陰自賛肖像展」
吉田松陰自賛肖像・絶筆・松下村塾記修復記念
吉田松陰自賛肖像・絶筆・松下村塾記の修復を記念し、修復後、初公開いたします。

二、歴史探究講座

◎吉田松陰の手紙を読む
◎吉田松陰関係資料について
◎吉田松陰自賛肖像について

三、文書館書庫見学ツアー

日時—六月一日(日) 十時・十一時・十三時・十六時
六月三日(火)～六日(金) 十一時・十四時
六月七日(土) 十時・十一時
六月八日(日) 十一時・十四時

四、ギャラリートーク

専門研究員が展示解説を行います。(当日受付)
日時—六月七日(土) 十時半
六月八日(日) 十時半・十五時

五、文書館を使ってみよう!

文書の取り扱い方や文書館の利用方法をガイドします。
日時—六月三日(火) 十五時～十六時半

六、アーカイブズ歴史小話

専門研究員が、アーカイブズに関する「ちょっといい話」をレレー形式で紹介いたします。
日時—六月一日(日) 十四時～十五時半

すべて参加無料

▶ウィークの期間中、閲覧業務は通常どおり行います(但し6月7日(土)、6月8日(日)は除く)。2日(月)は閉館です。

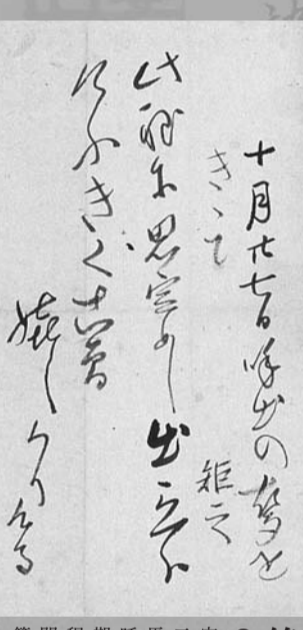
第三回 中国四国地区アーカイブズウィーク

アーカイブズウィークとは、「公文書館法」の施行(昭和六十三年六月一日)を記念し、文書館の業務に対する理解を広め、アーカイブズ(記録資料)の保存・活用を促進するPR事業です。期間中、中国四国地区の文書館施設で様々な行事を行います。山口県文書館では、館蔵の「吉田松陰自賛肖像」、「絶筆」、「松下村塾記」の修復を記念し、アーカイブズ展示をはじめ多彩なイベントを開催します。



絹本着色吉田松陰像(自賛) (安政六年五月中旬)

安政六年(一八五九)五月、最期となる江戸への旅立ちを前に、松陰門下の松浦、松洞が描いた肖像に、門下生達の求めに応じて、松陰自らが賛を書いた(自賛)もの。本図は、全部で六幅現存する自賛肖像のうち、吉田家に伝わった二幅で、最も世に知られている。自賛肖像の中で唯一の跣座(脚を組んで座る)像であり、羽織を纏わず、刀を左脇に置き、やや寛いだ姿勢をとっている。紺色の着物が画面に締まりを与え、整然とした賛文と相俟ってバランスの良い作品となっている。二面長で鼻が高く、色白の顔に天然痘の痕がある。一見威圧感はないが目は鋭く、爛々と輝いている」と評された松陰の面貌をよく表している。



絶筆 (安政六年十月二十七日)

馬町の刑場で処刑された。呼び出しの声を聞いて、最期の首を書いたもの。「此程に思定めし出立へけふ聞くこそ、嬉しかりける。」第四句の字数が足りないことに気づいたが、せかされたために「」の側に「」をうったまま筆を置かざるを得なかった。

松下村塾記 (土屋瀟海批評) (安政三年九月廿日)

松下村塾は、叔父の玉木文之進が創設し、親族の久保五郎左衛門、そして松陰へと引き継がれる。本書はその久保の命によって記したもので、松陰の教育に対する高い理念と抱負が雄渾な文章でつづられている。友人土屋瀟海による朱筆の批評が加えられている。

